

2009年7月8日

住友林業の社有林がオフセット・クレジット（J-VER）制度における 森林吸収活動プロジェクト第一号として登録

住友林業株式会社（社長：矢野龍 本社：東京都千代田大手町1丁目3番2号）は、環境省が推進するオフセット・クレジット（J-VER）制度の「持続可能な森林経営促進型プロジェクト」に申請していた、宮崎県の当社社有林山瀬地区を対象とした「住友林業株式会社社有林管理プロジェクトⅠ」が、J-VER認証運営委員会により登録されたので、以下の通りお知らせいたします。

なお、「持続可能な森林経営促進型」としては、今回唯一の登録であります。

1. J-VER制度とは

環境省が地球温暖化対策の一つとして推進する、国内の温室効果ガスの排出削減・吸収量を、自主的なカーボン・オフセット用のクレジットとして認証する**オフセット・クレジット（J-VER:Japan Verified Emission Reduction）**制度で、平成20年11月に創設されました。創設当初はCO2排出削減プロジェクトのみが対象でしたが、平成21年3月に、林野庁と連携して森林のCO2吸収量を増加させる森林管理プロジェクトが追加されました。

2. J-VER制度申請の背景

当社は1691年の創業以来300年以上に亘り、山林経営を行っています。その経験において、植林から育林、伐採、木材利用に至るまでの様々なノウハウを蓄積しており、近年は、社有林資源が充実してきたことから、資産増強と共に収益力のさらなる強化に取り組んでおります。今回J-VER制度に申請した目的は、社有林がCO2のオフセット・クレジットに登録されることで、当社の行ってきた持続可能な山林経営に対する評価を高め、社有林に新たな価値を付加することを目指したためです。また、日本の山林経営を取り巻く事業環境は依然として厳しい状況にあるため、当社の社有林がJ-VER制度に登録されることで、オフセット・クレジットの活用が山林経営の採算性を向上させるビジネスモデルの一つとなり、国内山林の活性化、森林整備の推進につながることを期待しております。

3. 登録されたプロジェクト概要について

| | |
|------------------------|---|
| プロジェクト名 | 住友林業株式会社社有林管理プロジェクトⅠ（宮崎事業区山瀬地区） |
| プロジェクト実施場所 | 宮崎県東臼杵郡美郷町（ひがしうすきぐんみさとちょう） 宮崎県東臼杵郡椎葉村（ひがしうすきぐんしいばそん） |
| プロジェクト種類 | 持続可能な森林経営促進型プロジェクト |
| クレジット発行見込み量 （5年間平均） | 1,795ton-CO2※ |

※ 今後は、当社によるCO2吸収量モニタリングを実施した後、検証機関（第3者機関）の審査を経て、クレジット発行量が決まります。

4. 発行されたクレジットの取扱について

検証機関による検証後、最終的にJ-VER認証委員会の承認を経てクレジット発行となります。また、発行されたクレジットは、社有林への新たな価値の創出と位置付け、当社グループにおけるCO2削減目標への充当のみならず、社外への売却、自社商品・製品のカーボン・オフセットを検討してまいります。

《本件に関するお問い合わせは、下記にお願いいたします。》

住友林業株式会社

コーポレート・コミュニケーション室 松家・大屋

TEL：03-3214-2270

FAX：03-3214-2272